

令和6年度 第18回オホーツクみどりネットワーク全体会議について

令和6年5月14日、網走市の北海道オホーツク合同庁舎で「第18回オホーツクみどりネットワーク全体会議」が4年ぶりに開催されましたので参加してきました。

コロナ過ということで4年ぶりの開催となったわけですが、この間、思うような活動ができないことと4年前の経過を思い返しながらの内容なので活発な議論とはいきませんが、昨年の活動状況と決算報告のあと今年度の活動方針、活動計画、「緑化公募事業」の助成金申請と「オホーツクみどりネットワーク」の会費について全体で確認しました。

その後、役員改選を行い、新役員を紹介し全体会議は終了し、最終プログラムの講演に入りました。

講師はNPO法人増毛山道の会 事務局担当理事 小杉さんから「増毛山道」一筋のこの道を遺したいと題して話がされました。

増毛山道の歴史、全国の山岳古道、増毛山道を何故、再生しようと思ったのか、また再生に至る経過と具体的な再生活動について話と動画で説明がされました。

現在はトレッキングでの活用や山道の維持管理、パネル展（旧増毛小学校に常設）や札幌チカホ等でのパネル展活動を行っています。

私費を投じて空中写真での調査を実施するなど山道再生にかける情熱の熱量には熱いものを感じました、機会があれば訪れてみたいと思いました。